



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-42

(2022. 7. 4)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048  
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

## 信用金庫の定期預金残高の動向 (2021 年度末)

とね かずゆき  
刀禰 和之

### ポイント

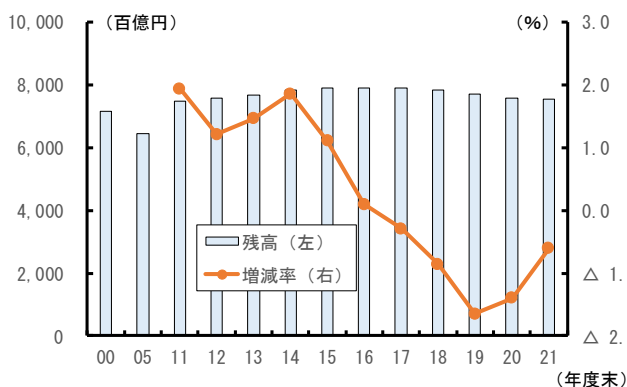
- 2021 年度末の信用金庫の定期預金残高は、前期比 0.6%、4,608 億円減少の 75 兆 4,177 億円となり、5 年連続で前期を下回った。
- 地区別の定期預金増減状況は、近畿などの 5 地区で 2011 年度末から残高が増加し、北陸などの 6 地区では残高が減少している。
- 信用金庫別の定期預金比率（預金に占める割合）を 2011 年度末と 2021 年度末で比較すると、比率上昇は 4 金庫に留まり、比率低下は 250 金庫に達した。
- 2021 年度末の信用金庫別の定期預金比率は、①50%未満が 142 金庫、②50%～60%未満が 85 金庫、③60%以上は 27 金庫となった。

### 1. 全国状況

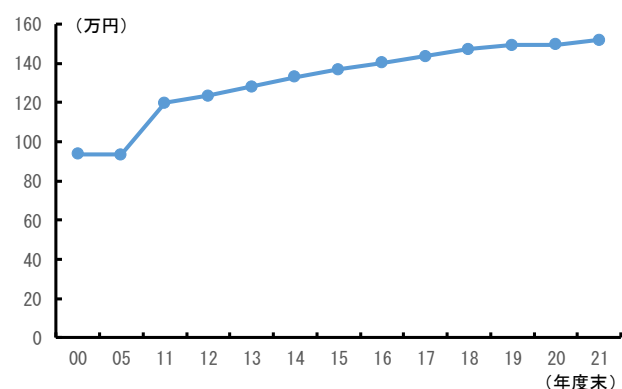
2021 年度末の信用金庫の定期預金残高は、前期比 0.6%、4,608 億円減少の 75 兆 4,177 億円となり、5 年連続で前期を下回った（図表 1）。低金利政策の影響などを受け信用金庫の定期預金残高は減少傾向にあり、定期預金比率（預金に占める割合）も 2011 年度末の 60.9%から 2021 年度末には 47.4%まで低下している。

また定期預金口数も減少が続いており、2011 年度末の 6,247 万口から 2021 年度末には 20.5%減少の 4,963 万口となった。この間、定期預金残高が 0.8%増加したことに加え、口数が 20.5%減少したため、定期預金 1 口あたり残高は増加方向にある。2021 年度末の 1 口あたり残高は、2011 年度末（119.6 万円）比 26.9%増の 151.9 万円となっている（図表 2）。

（図表 1）定期預金残高の推移



（図表 2）1 口あたり残高の推移



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
  2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
  3. 図表 1 から 5 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 地区別の状況

2021年度末の地区別の定期預金残高は、2011年度末比で近畿、東海、東北などの5地区が増加、北陸、中国などの6地区は減少した（図表2）。また、2021年度末の地区別の定期預金比率をみると、四国の63.3%が最も高く、近畿の52.5%、北陸の51.8%が続いた。

（図表3）地区別の定期預金残高

（単位：百億円、%）

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		比率	1金庫あたり 残高
						増減額	増減率		
北海道	349.2	331.0	385.9	365.9	360.5	△ 25.3	△ 6.5	43.6	18.0
東北	258.0	234.3	254.0	270.7	270.9	16.9	6.6	45.5	10.0
東京	1,319.9	1,190.3	1,372.6	1,324.1	1,335.8	△ 36.8	△ 2.6	46.7	58.0
関東	1,355.6	1,199.8	1,343.3	1,288.2	1,266.5	△ 76.8	△ 5.7	43.1	25.8
北陸	221.0	213.3	241.9	209.4	206.2	△ 35.7	△14.7	51.8	13.7
東海	1,350.6	1,220.5	1,485.4	1,608.7	1,596.3	110.8	7.4	47.1	46.9
近畿	1,511.8	1,341.3	1,599.2	1,743.8	1,736.9	137.7	8.6	52.5	59.8
中国	340.6	305.2	321.0	289.2	284.3	△ 36.7	△11.4	42.1	14.2
四国	138.8	146.1	186.4	196.7	196.1	9.7	5.2	63.3	19.6
九州北部	121.3	111.2	121.0	122.9	122.9	1.9	1.5	46.3	9.4
南九州	167.6	145.3	156.9	157.7	154.9	△ 2.0	△ 1.3	49.1	11.9
全国	7,145.3	6,446.7	7,477.7	7,587.8	7,541.7	63.9	0.8	47.4	29.6

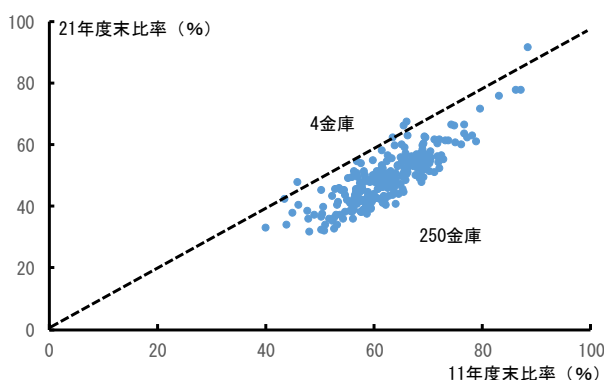
（備考）沖縄県は全国を含む。

## 3. 信用金庫別の状況

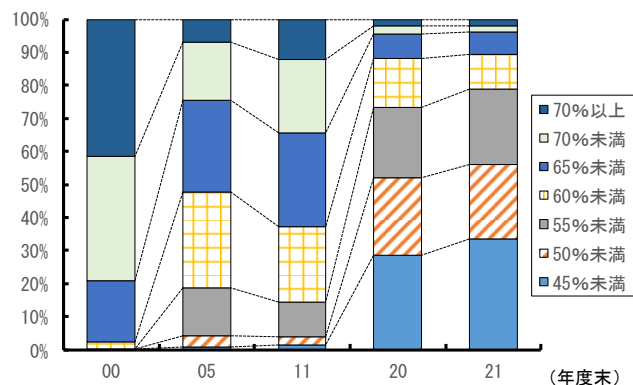
信用金庫別の定期預金比率を2011年度末と2021年度末で比較すると、①比率上昇は4金庫に留まり、②比率低下は250金庫に達した。なお同期間に定期預金残高が増加した信用金庫は102金庫あり、うち50%以上の増加は10金庫となった。

2021年度末の定期預金比率は、①50%未満が142金庫（構成比55.9%）、②50%～60%未満が85金庫（同33.4%）、③60%以上は27金庫（同10.6%）であった（図表5）。2011年度末の構成比と比較すると、45%未満が1.4%（4金庫）から33.4%（85金庫）に、70%以上は12.1%（33金庫）から1.9%（5金庫）に変化している。

（図表4）定期預金比率の変化  
（11・21年度末）



（図表5）信用金庫別の定期預金比率



以上